

あーばんとーく

平成14年10月号 (通巻 第62号)
発行: こうべまちづくりセンター
〒650-0022
神戸市中央区元町通4丁目2番14号
こうべまちづくり会館内
電話 078-361-4523 ・ Fax 078-361-4546
URL:<http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp>

こんにちは! ワークショップ隊です!

一度出会うと忘れられない。まちづくりには、もう欠かせない私たち

初めまして!

地域コミュニティパワーアップ事業とその活動の一部であるワークショップ隊の概要については、前々月の8月号で紹介されましたので、今月は、隊員の一人である私のこの半年間のまちづくり活動体験、そして隊員の皆さんとの仕事の様子についてお話をしたいと思います。私は、まちづくりセンターで仕事をするまでは、ワークショップやまちづくりに参加することに不安を感じていました。いきなり大勢の初対面の人たち(それも自分の親かそれ以上のオトナのみなさん)の中でどうやって・・・、と少し怖じ気づいていました。

どきどき・・・、初めてのワークショップ

そんな私のワークショップデビュー戦は、7月3日に新長田で開催された「第5回リサイクル商店街サミット」でした。ワークショップ進行のお手伝いです。どんなことをすればいいのか事前に知っていたものの、その場に出ると参加者のじやまにならずにさりげなく手助けをする難しさに戸惑ってしまいました。そんな未熟なお手伝いでしたがワークショップが終わったとき、参加者の方から「おかげでうまく進行了ました。」と感謝の言葉を頂いたときはうれしくなりました。



無事デビュー戦を終えてからは、たくさんのワークショップに参加しました。その中でも私の好きなのはまち歩きです。まち歩きでは今まで見過ごしていた所で、おもしろい発見があります。講師の方からの歴史のお話も興味深くて好きです。そして、歩いて撮ってきた写真をみんなで自慢気に見せ合うのも楽しいです。例えば先日は中央区の宮本・吾妻地区を歩き、今まで

私の知らなかった高度成長期が残っていた、まちの歴史を体で感じ、強く心に残りました。あちこちの地域を訪れ、住民の方々と一緒にさせていただいて、みんな自分が生まれ育った所とは目に見えないものと結ばれているんだなと私は感じます。外国のどこかの街もステキ、日本のどこかの都市もカッコイイ。でも、一日一日生活を積み重ねてきた土地を愛しく思う気持ちは大切にしたいなと思います。

おでんの鍋のようなワークショップ隊

ワークショップのお手伝いに行く時はいつも数人のグループで行きます。その時々によって顔ぶれは変わりますが、毎回皆さんと会えるのが楽しみです。年齢も今までの経験も様々な人たちが、それぞれの持ち味を生かして仕事ができるのが、ワークショップ隊の良いところです。皆さんの経歴は元バスガイド、青年海外派遣隊でアフリカに派遣されていた人、メーカーの営業で活躍していた人など様々です。そんな人たちが、まちづくりに興味を持ち、それぞれの持ち味を発揮しつつ一つ一つになって別の新しい味を出しているのは、まさに「おでん鍋」のようです。最初は興味からこの仕事を始めた人も、ワークショップやまちづくり活動に参加するにしたがって専門知識を深め、まちづくり活動について自分の意見を持ち、企画や行動に移す積極的な活動も表れてきました。もともと、行動力と好奇心の旺盛な人たちの集まりなので、ワークショップ隊の今後の活動がますます個性的で面白いものになるのではないかと期待しています。

(ワークショップ隊 頓宮 千春)

(おまけ)
ワークショップ
売ってないのね
ネジやくぎ
千春

連載「コンパクトタウンづくり」活動報告

第6回 六甲アイランド（神戸市東灘区）

■六甲アイランドについて

今年でまちびらきから15年を迎えた六甲アイランドは、島の外周部には港湾施設や企業・工場が、中央部には業務・商業施設、住宅が配置され、両者が調和したポートアイランドに次ぐ第二の海上文化都市です。面積は約36ha、人口は約15,000人（約5,000世帯）です。公園も多く緑にあふれ、徒歩圏内にホテルや病院、ショッピング施設が整い、生活に必要な施設や環境がほぼ整っている住環境が魅力です。



■震災時の経験を生かして

阪神大震災の時には、島と陸を結ぶ唯一の橋である六甲大橋が通行不能となり、六甲アイランドは陸の孤島状態になりました。また高層マンションのエレベーターが止まるなど、生活に大きな支障をきたしました。しかしこうした出来事が、島内の住民と企業の結束を一層強めることになり、両者が一体となってこの災害を乗り越える結果となりました。

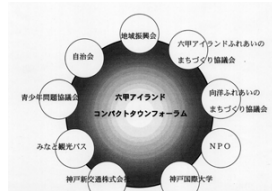


こうして築いた地域の連携は、現在、島内に居住する外国人も多数参加する夏祭り「サマーイブニングカーニバル」、島内一斉クリーン大作戦などの毎年定期的な開催する催し、また地域の各施設における趣味や文化活動、スポーツ健康づくり、外国人との共生などの催しに反映されています。

■六甲アイランド・コンパクトタウン・フォーラム

自治会、地域振興会（企業・事業者の連絡会）、青少年問題協議会、ふれあいのまちづくり協議会、神戸国際大学等、島内の各組織の代表者をメンバーにした「六甲アイランド・コンパクトタウン・フォーラム」が平成13年8月に設立されました。フォーラムは、六甲アイランドの恵まれた住環境を維持しつつ、いつまでも安全で快適、住みやすく美しい街を創っていくことを目的に、ニュータウンの中でのコミュニティの活性化、まちの継続的な維持・発展をテーマに、議論・調査・検討を行う「島のシンクタンク」としての役割

を目指しています。現在は、島内の約40団体近い地域組織間の連携を強めていくことや、島内の住民同士のコミュニティを強化し、まちへの愛着やマナーを高めていくことが、最重要課題になっています。



■地域の総合情報紙「六甲アイランド コンパクトタウン・ニュース」の発行

平成13年秋からは、地域の総合情報紙として、島内の活動団体情報やまちの課題を検討する「六甲アイランド・コンパクトタウン・ニュース」を発行（季刊）し、これまでに「六甲ライナー大研究」「特集！リバーモール」「何とかしませんか、自転車駐輪問題」など、島内の様々なテーマを取りあげてきました。ニュースを読んだ方からは、フォーラムの地域事務局的機能を評価するとともに、まちのモラルやマナーについての投書が多数寄せられました。フォーラムではその都度、関係先に改善や対応をお願いする一方、フォーラム自身で検討するなどして解決へ向け奔走しています。その甲斐あって、六甲ライナーの最終電車の延長、定期券売場増設などが実現しています。また、フォーラムでは常に行政や関係団体と連絡調整を図るとともに、住民たちでも出来ることはないか、住民としての取り組みの提案なども続けています。

■メンバーの橋谷賢一さんのおはなし

自分達の街を誇れるか、自分が地域のためになにが出来るか、子供たちに故郷として何を伝えて残すのか、そして今もしくはそれ以上の住環境を維持発展させるのか。これらは、私たち住民の意識次第だと言っても過言ではありません。不満な点を主張するだけではなく、自分達の街を自分達で創る。満足できる点を維持向上させていく意識でもって住民同士が力を合わせていく。

これまでの六甲アイランドは街を作っている「過程」でしたが、震災を機に住民同士の結束も一層高まり、住民同士の親睦・交流に重点を置いた様々な地域活動がなされてきました。六甲アイランドは今、まちの成熟期・転換期を迎えているのだと思います。



まちづくりワークショップ・基礎講座 ー最終回ー

1. 第3回ワークショップ<8月26日(日)>

いよいよワークショップも最終回。第2回までに出席された意見やキーワードをもとに、専門家の手で階段整備の基本案を用意し、内容をみんなで確認します。

<プログラム1 ~整備案を確認しよう~>

前回の結果など、これまでの経過を説明したあと、改修案の説明を行いました。まず重要なポイントになった擁壁について、



設計者から概要の説明

石積み案でまとめたことを技術的な解説を交えて設計者（某コンサルタンのY部長）から説明しました。人の姿を書き込んだ断面図を用意し、実際の道幅を部屋の中に再現するなど、できるだけ図面から実際の大きさがつかめるように工夫を行なっています。

次に全体計画の説明です。図面を出す前に、改修案のコンセプトと各部分がどのように設計されているか、「お話」を聞いてもらいました。設計やデザインの内容をわかりやすい言葉で文章にしたものを**デザイン・ランゲージ**と呼んでいます。これまで相談してきた内容がどのように生かされたのか、頭の中でイメージを確認してもらうのです。設計図やパースを最初に見てしまうと、どうしても気になる部分だけに目が行って、全体を見逃してしまいがちです。まず言葉で聞いて一つ一つ中味をイメージしておく、図面やパースを見た時に全体を理解しやすいのです。

さて、いよいよ図面とパースを貼り出して全体を眺めます。パースが張り出されると、「ほう」と声があがりました。幅は2.7m、蹴上げは25cm、ふみ面は35cm、階段の両側に2段式の手すり、イメージカラーでみんなが選んだ青色は手すりに使われています。



ビニールテープで実際の寸法を確認

設計者から各部分の説明を行い、質問に答えていきます。インターロッキングを使ったアクセントの様子は、用意した3つのパターンの中から旗揚げで選びました。

<プログラム2 ~実際に現場で確認しよう~>

図面とパースでイメージを膨らませたところで、最後に現地で出来上がりの寸法を確認しました。現地に整備後の形をビニールテープで示しておきました。これで整備後の階段の勾配や広さなどが確かめられます。現地で実際の広さ、大きさを確かめるこのような方法を**原寸確認ゲーム**と呼んでおり、公園や建築物などの計画をつくる場合によく使われています。

<プログラム3 ~イベントをしよう~>

長く地元の懸案だった階段整備。工事にあわせて何かイベントをしよう、というまちづくり推進会からの提案をもとにKJ法でその案を考えました。着工の式、解体前の落書き大会、愛称募集、竣工の時にはテープカットやクス球割り、プラスバンドの演奏などさまざまな案が出されました。

<プログラム4 ~最後に~>

最後のプログラムは、案の出来栄えについて「大満足」から「やり直し」まで「満足度」を聞く旗揚げアンケートでした。これは主催者としては大変勇気がいる設問ですが、参加者の評価を知ることは次のプログラムのためにも重要です。結果はほとんどの参加者が「大満足」でコンサルタントのY部長もホッと胸をなでおろすことが出来ました。最後に今後の予定を説明して3回のワークショップは終了しました。

2. ワークショップが終わって

今回の成果は実施設計に生かされましたが、イベントについても「イベント実行委員会」が結成されて、11月には「着工お祝い会」が開かれ、公募の結果「見晴らし階段」という愛称がつけました。3月の「完成お祝い会」では、「いい階段ができたねえ」という多くの喜びの声とともに、ワークショップに皆勤したあるご婦人からは「市の工事が完成するのをこんなに楽しみにしたのは初めて」という言葉も聞かれました。小さな階段ですし、市の職員がコンサルタントと案を作っても、大差ないものができたかもしれません。しかし、それではこのような声は無かったでしょう。違いはわずかでも、そこには大きな価値の差があります。ワークショップは、この価値の創造に大変有効な手段です。今年度からは、まちづくりセンターにワークショップをお手伝いする「ワークショップ隊」も結成されました。みなさんも是非トライしてみてください。

イベント案内

親子で歩こう！平野のまち

—親子でこうべの魅力再発見—

親子でまちを歩き、日頃何気なく歩いている「まち」の魅力を発見しよう！
静かで由緒あるまち平野。ぎおんさん、市場、路地など魅力いっぱい。
さあ、皆で楽しく Let's まちあるき！！

日 時：11月16日（土）午後1時～5時
場 所：兵庫区平野地域福祉センターに集合、その周辺を歩きます。

参加資格：小学生とその保護者

申込み締切：11月10日必着（応募者多数の時は抽選）

申込み先：〒650-0022 神戸市中央区元町通4丁目2-14

こうべまちづくりセンター まで

※ ご住所・郵便番号、電話番号、参加される方のお名前、子供の学年、保護者との関係を明記のうえ
ハガキ、Fax（Fax 番号361-4546）でお申し込みください。

E-mail：mati@kobe-toshi-seibi.or.jpでも申込みできます。



第3回新長田駅北地区東部ふれあい祭り

震災復興・活性化の起爆剤として始まったこの「ふれあい祭り」も今回で3回目になります。今年は“アジアとの交流”をメインテーマに会場周辺でアジアを実感できるような演出、各種イベントを行い、来場者のみなさんに「また行きたいまち、ながた！」を体験していただきます。

日 時 平成14年10月27日（日）
午前11時～午後4時

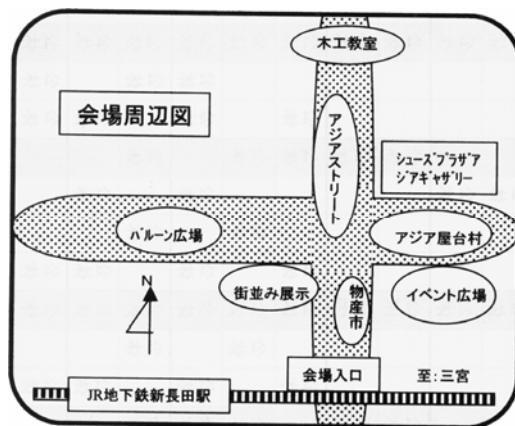
場 所 新長田駅北地区東部
（シューズプラザ、アジア交流プラザ周辺）

主 催 新長田駅北地区東部ふれあい祭り実行委員会

イベント ステージ（アジア各国民俗芸能、
ひばりそっくりショー、抽選会等）
屋台（アジア食のストリート）
こどもの遊び場（木工教室、ミニ電動機関車、
バルーン広場等）

その他 ポイントラリー、園芸市等多数開催されます。

問い合わせ 新長田北活性化センター（電話・ファックス 078-642-2355）



まちづくり会館からのお知らせ

こうべまちづくり会館 1階オープンギャラリーの展示

| | | |
|-----------------|------------------------|------------------|
| 10月1日(火)～31日(木) | 第4回まち並み緑花 コンクールパネル展 | 神戸市 神戸市公園緑化協会 |
|-----------------|------------------------|------------------|

こうべまちづくり会館 地階ギャラリーの予定

| 期 間 | 内 容・テ ー マ | 主 催 者 |
|--------------------|------------------|-----------------|
| 10月 3日(木)～ 8日(火) | 26回ART'81展（油彩） | ART-81 |
| 10月10日(木)～15日(火) | 第8回遥洋会油絵展 | 遥洋会 |
| 10月17日(木)～22日(火) | 第24回CPM展（油彩・水彩） | 三菱重工神戸造船所CPM洋画部 |
| 10月24日(木)～29日(火) | 「朝の会」制作展（油彩・水彩等） | 朝の会 |
| 10月31日(木)～11月5日(火) | 葦の会展（油彩） | 葦の会 |